

＜知床観音岩 COAST WAY フットパスコース＞

目梨郡羅臼町富士見町7村田スポーツ店内

知床羅臼フットパスクラブ代表 高島讓二

1. 提案内容

目的	世界自然遺産・知床の相泊～観音岩間を徒歩にて自然を観察し体感する、フットパスコースの整備。
背景・理由	<p>近年、国内においても、徒歩による自然観察、体験が愛好され各地でフットパスのコースが設定、整備されている。</p> <p>羅臼町においても、世界自然遺産登録後、世界自然遺産を堪能できる散策コースを求め多くの観光客が訪れており、多くは山野に整備された既存の散策路を活用しているが、近年は世界自然遺産地域内で営まれている漁業現場の見学と同地域での散策をとめ、相泊から観音岩までの区間を徒歩で利用する者が増えてきている。</p> <p>同区間では、ヒグマなどの野生動物の出没もさることながら、漁業生産活動も営まれており漁業者へ配慮した利用も求められるため、同区間をフットパスコースとして指定し、利用以前の学習や案内版など最小限の整備をし、漁業者、利用者ともに快適に利用できるよう体制を整えたい。</p>
具体的提案内容	<p>フットパス関係情報誌等で相泊から観音岩までのコースを周知する。周知の際は知床世界遺産ルサフィールドハウスへ立ち寄り、注意事項、禁止事項等のレクチャーを受けるよう啓発する。</p> <p>また、クラブ自体、またはクラブ会員が散策する場合、アメリカオニアザミ、ハルザキヤマガラシなどの外来植物の駆除もかねて散策を行う。</p>

2. 戦略の基本原則との対応

①遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上	同区間の利用であっても知床半島先端部の利用であるため、利用に係るレクチャーをルサフィールドハウスで受けさせることで、利用者へ自然環境の保全についての意識を芽生えさせる。また、事前レクチャーの後に利用することで、知床の自然の保護と生産活動を含めたその地域の利用について特別感を得ることが可能となり、結果的に価値が向上するものとする。
②世界の観光客への知床らしい良質な自然体験の提供	伝統的におこなわれてきた漁業活動を紹介することにより、知床の自然と人との関わりを理解してもらい、より良質な自然体験の提供に繋げたい。
③持続可能な地域社会と経済の構築	新たなツアーの開発はガイド事業者や宿泊施設の収入につながるため、地域社会と経済に貢献できる。自然環境保全への理解者の増加も望める。

3. 検討部会の想定メンバー

関係行政機関	釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、羅臼町
地域関係団体	知床羅臼ガイド協会、羅臼漁業協同組合、(一社)知床羅臼町観光協会、(公財)知床財団

